

障害者支援施設 羽合ひかり園

1 基本方針

どんなに障がいが重くても「施設から地域の中へ」を目標とし、一人ひとりの幸せを考え、その人らしい豊かな生活が送れるよう支援する。

2 利用者の状況（令和7年3月31日現在）

（1）入所者状況

（人）

利用人数		前年度末利用者数	令和6年度中の入退所状況								利用延人員	定員に対する年間平均稼働率	年度末利用者数	
区分	定員		入所人員	退所人員	退所理由別				死亡					
					地域移行		家庭復帰	施設移管		契約解除(入院等)				
				GH	アパート等									
生活介護		60	72	1	1	0	0	0	1	0	0	17,949	111.2%	72
施設入所支援		40	41	1	1	0	0	0	1	0	0	14,413	98.7%	41
5年度	生活介護	60	72	4	4	0	0	0	1	2	1	18,308	113.0%	72
	施設入所支援	40	38	5	2	1	0	0	1	0	0	14,457	98.8%	41

（2）障害支援区分

①生活介護

（人）

性別	障害支援区分							計
	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	0	1	3	16	38	58
女性	0	0	0	0	3	1	10	14
計	0	0	0	1	6	17	48	72

②施設入所支援

（人）

性別	障害支援区分							計
	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	0	0	0	0	1	5	27	33
女性	0	0	0	0	1	0	7	8
計	0	0	0	0	2	5	34	41

3 事業の実施状況

（1）利用者支援の充実

ア 行動障がい者への支援

（ア）月に1回、精神科医の往診を受けている。また、2名の利用者を対象として、NPO法人スペルの職員にアドバイザーを依頼し、3か月おきに検討会を実施した。

また、当園の強度行動障がい者支援プロジェクトチームの職員をアドバイザーとして、他の寮の支援困難者についてケース検討会を実施した。

（イ）強度行動障がい者支援者養成研修は基礎3名、実践1名が受講、職員4名を講師として派遣した他、専門研修にはオブザーバーとして1名が参加した。

また、国主催の中核的人材養成研修に1名が受講した。

イ 重度知的障がい者の高齢化支援への充実

（ア）医療機関、特に嘱託医の協力の下、利用者の健康状態の変化について早期発見に努めた。

(イ) 2か月に1回母来寮のOTを派遣してもらい、相談会を開催し、生活リハビリの方法、介護技術や福祉用具の選定についてアドバイスを受けた。

ウ 在宅の強度行動障がい者への支援

(ア) とっとり県版強度行動障がい児者先導的支援事業において、月1回開催される指導員会議及び個別面談に出席した。また、10月以降は東部地区の2件のケースにも参加し、在宅障がい者の支援に努めた。

(イ) 短期入所を定期的にご利用される方が2名おられたが、1名は8月に自宅で骨折されて以降利用がなく、1名は9月に当園に入所された。

1年を通して職員が欠員状態であり、多勢の方の受け入れは困難であるが、新規利用者の受け入れを図っていきたい。

エ 効率的な支援体制への見直し

これまで各寮毎で活動していたが、寮を跨いだ活動班を設置し、ひとつの寮で欠員が出た時でも活動が出来る体制を始めた。

入所は4寮に分け支援しているが、昨年度と比べ支援員が6名減となっており、夜間の体制の見直しも検討中である。

オ 地域貢献活動の推進

年2回湯梨浜町主催の東郷池一斉清掃に参加、また、湯梨浜町社会福祉協議会理事会に理事として、湯梨浜町虐待防止ネットワークに委員として、湯梨浜町人権教育推進協議会、湯梨浜町自立支援協議会に委員として参加した。

(2) 虐待防止

ア 鳥取県等が実施する障がい者虐待防止研修に、全職員が毎年1回は受講することとしており、今年度も計画的に受講し、虐待防止についての意識向上に努めた。

イ 虐待防止チェックシートは7月に実施、虐待の芽チェックシートは各寮が2月おきに実施した。

自身の支援を振り返る機会とし、職員への注意喚起と、支援が難しい利用者のケース会を開催し、虐待防止に努めた。

ウ ストレスチェックは9月に実施し、結果の概要については衛生委員会で報告した。

メンタルヘルス等の研修については計3回、3人の職員が受講した。

(3) リスク管理と感染症予防

ア リスクマネジメント委員会は、毎月1回定期的実施するとともに、必要に応じて緊急リスクマネジメント委員会を開催し、再発防止策を検討した。

イ 今年度も新型コロナ陽性者が発生した。利用者が陽性になったのは計9回、利用者延べ19名、職員延べ13名が感染したが、重症化された利用者はおられず、1回当たりの感染も比較的少人数で、且つ短期間で終息した。

これとは別に園内に感染が広がらなかったものの、職員7名、職員の家族15名が感染し、その都度職員は出勤停止となったため、日課の提供に支障をきたした。

なお、食中毒予防に関しては、当園の管理栄養士を講師として年2回研修会を実施し、食中毒予防にも心掛けた。

(4) 経営改善

ア 建替については、建設費の高騰等により今年度の実施についても見送った。今後も状況を勘案しながら、適切な時期等を判断していきたい。

イ 稼働率〔生活介護：113%、施設入所支援：98%、短期入所5%〕

今年度も新型コロナ陽性者の発生による在宅利用者の利用自粛や長期入院の影響で目標稼働率に達しなかった。

生活介護111.2%、施設入所98.7%、短期入所1.6%

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
鳥取県新規採用職員	8月	1人	2人
鳥取社会福祉専門学校	10月	1人	1人
計		2人	3人

(2) ボランティアの受入実績

ボランティア体験事業（中央高等学園専修学校）1人、演芸ボランティア10人
延13人

5 附帯事業

(1) 短期入所事業 定員 2名及び空床型

(2) 日中一時支援事業 定員 上記同様（主な受入先：琴浦町）

(3) 利用実績 (人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
短期入所事業(宿泊有)	2	12	1	6
日中一時支援事業	4	48	3	33